



学校だより

2月号 (第198号)

令和6年1月31日発行
横浜市立並木中央小学校
校長 齋藤 由美子



自分の力を人のためにも役立てる

校長 齋藤 由美子

「お願いします！地震で困っている人たちのために、募金してください！」
凜とする寒さの中、児童運営委員会と募金活動に最初に名乗りを上げた3年生有志数名が、昇降口で募金活動をしています。1月9日の朝会で、能登半島地震の話をしたところ、翌日には3年生が「募金を中央小でもしたい。」と言ってきました。「自分たちだけでは、ちょっと心配…」というつぶやきもあり、担当の教師を通じて児童運営委員会にも話がいききました。毎日の報道で、寝る場所や食事にもご苦労なさっている被災者の方々の様子を知っているの、子どもたちから続々と募金が集まっています。ご協力くださった保護者の皆様、ありがとうございます。

中央小の子どもたちには、学校で身に付けた様々な力を、教科の学習だけでなく、自分のためだけでなく、生活の様々なところで、人のためにも役立てようとする気持ちをもってほしいと思います。解決すべきことに対して、言葉の力を使って自ら考え進んで行動する子どもの姿が、時々キラッと光ります。子どもたちの心と力を信じて教育活動を続けます。

今週は、大谷選手からのグローブも届きました。子どもたちからは、事前に使い方を募集しました。「キャッチボールをしたい。」「学年で順番に使いたい。」と、いくつも意見が寄せられました。大谷選手が、ご自身のあたたかい心と力を使って日本の子どもたちのために贈ってくださったグローブです。中央小の子どもたちの想いを活かして使わせていただきます。



「募金をお願いします！」
全校に呼びかける子どもたち。

お年玉からの募金
ありがとう！



「能登半島の方がよろこんでくれますように」と書いてありました。あたたかい心が伝わります。

